

令和7年度 第2回 国東市公民館運営審議会 審議概要

令和8年3月6日に開催された審議会において出された主な意見は、以下の通りです。

1. 各公民館事業・イベントについて

○相続登記勉強会

講師が個別に対応したことで受講生の理解が深まり、実際に登記手続きを完了できた受講者もあり、非常に有意義な講座であった。

○情報提供の拡充

相続登記の義務化に伴い、自身で手続きを行うために必要な書類等の情報を、今後も積極的に発信してほしい。

2. 広報活動について

○積極的な情報発信

公表可能な講座情報は、会議やホームページ等でより積極的に周知を図ってほしい。

○講座の質の高さ

中央公民館主催「やさしい日本語」講座に参加したが、外国人とのコミュニケーションの意義や手法について理解が深まる大変良い内容であった。多くの住民に参加を促すことが大切である。

○周知・広報の工夫

参加者の確保に苦慮する館もある。スマホ教室の少人数開催や、コミュニティカフェのような交流拠点の設置など、地域ごとの課題がある。各地区公民館において、活動内容をより広めるための周知努力が不可欠である。

3. 人材の発掘（地域リーダー）について

○研修の充実

“人づくり”をテーマにした館長・主事研修や、スタッフ研修などの企画が必要ではないか。

4. その他

○事業報告の活用

本年度の資料は、各地区館の取り組みとその特徴が整理されており非常に分かりやすかった。他館の好事例を参考にしたり、情報交換を促進する上で役立つ構成である。